

# 厚生委員会請願説明資料

令和3年11月12日

請願説明資料件名	頁
(1) デフリンピック東京開催を求める意見書の提出に関する請願	2

(福 祉 部)

件名	受理番号19 <b>デフリンピック東京開催を求める意見書の提出に関する請願</b>								
所属部課	福祉部 障がい福祉推進室 障がい福祉課								
請願の要旨	2025年デフリンピックを東京で開催するよう、東京都に意見書を提出してください								
請願者等	請願文書表のとおり								
紹介議員名	白石 正輝議員								
内容及び経過	<p><b>1 デフリンピックとは</b></p> <p>「デフリンピック」とは、耳の聞こえない（デフ：D e a f）選手のための世界規模で行われる総合スポーツ競技大会。</p> <p>(1) I O C（国際オリンピック委員会）が認める大会の一つであり、ほかに「オリンピック」「パラリンピック」「スペシャルオリンピックス」がある。</p> <p>(2) 夏季大会（1924年～）と冬季大会（1949年～）がそれぞれ4年に1度、2年ごとに交互に開催されている。 2017年トルコ（サムスン）で行われた夏季大会は、21競技に86カ国・地域から2,873人（日本からは108人）の選手が参加して行われた。 ※ 2021年夏季大会は12月にブラジル（カシアス・ド・スル）で予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2022年5月への延期が決定している。</p> <p>(3) 競技ルールはオリンピックと同じであるが、聞こえない選手のための視覚的保障がなされた競技環境があることが特徴となっている。</p> <p><b>【参考】 I O Cが認める障がい者スポーツ大会</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>主な障がい種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デフリンピック</td> <td>聴覚障がい</td> </tr> <tr> <td>パラリンピック</td> <td>肢体不自由（上肢・下肢および欠損、麻痺）、脳性麻痺、視覚障がい、知的障がい</td> </tr> <tr> <td>スペシャルオリンピックス</td> <td>知的障がい ※日常的なスポーツプログラムや成果発表の場</td> </tr> </tbody> </table>	名称	主な障がい種別	デフリンピック	聴覚障がい	パラリンピック	肢体不自由（上肢・下肢および欠損、麻痺）、脳性麻痺、視覚障がい、知的障がい	スペシャルオリンピックス	知的障がい ※日常的なスポーツプログラムや成果発表の場
名称	主な障がい種別								
デフリンピック	聴覚障がい								
パラリンピック	肢体不自由（上肢・下肢および欠損、麻痺）、脳性麻痺、視覚障がい、知的障がい								
スペシャルオリンピックス	知的障がい ※日常的なスポーツプログラムや成果発表の場								

## **2 これまでの動き**

- (1) 2017年6月  
国会内に「障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟デフリンピック支援ワーキングチーム」が発足
- (2) 2018年6月  
全日本ろうあ連盟評議員会において「2025年デフリンピック日本招致」を採択
- (3) 2018年7月  
「障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟スペシャルオリックス支援ワーキングチーム・デフリンピック支援ワーキングチーム」の合同会議が開催され「デフリンピック2025日本招致」のための支援を決定
- (4) 2020年10月  
全日本ろうあ連盟が「デフリンピック準備室」を開設
- (5) 2021年1月  
全日本ろうあ連盟が「第1回デフリンピック準備室会議」を開催
- (6) 2021年12月（予定）  
全日本ろうあ連盟がICSD（国際ろう者スポーツ委員会）総会において、2025年夏季大会の日本招致を表明

## **3 東京都の考え方・対応**

現時点において、東京都は日本招致における開催都市としての態度を明らかにしていない。